



産業構造

平成22年の国勢調査によると、本市の産業別就業人口は、第一次産業が2,429人（5.6%）、第二次産業が10,072人（23.2%）、第三次産業が30,846人（71.2%）となっています。近年、第一次産業の減少が目立ち、第二次産業は微減、第三次産業は増加傾向にあります。農業はサトウキビをはじめ花き、野菜、果樹、肉用牛、豚などの栽培・飼育が行われ、水産業は県内有数の「もずく」の生産拠点となっています。商業は既成市街地の活性化を図るため、各種の商業や産業の育成に努めています。工業については特別貿易地域に指定されている中城湾港新港地区において、情報産業をはじめ加工貿易型産業の拠点形成が推進されています。



文化・観光

12～13世紀の築城とされる勝連城跡は、琉球王国時代の15世紀ごろに活躍した阿麻和利の居城と伝えられ、2000（平成12）年に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして世界遺産に登録されています。また、市域には安慶名城跡や伊波城跡、沖縄先史時代の伊波貝塚や仲原遺跡などの文化財があります。

本市は古くから闘牛の盛んな地域で、沖縄一の規模を誇る安慶名闘牛場や石川多目的ドームでは一年を通じて闘牛大会が開催されています。エイサーは青年男女が各地域をまわりながら先祖の霊をなぐさめる勇壮な踊りで、毎年旧盆に行われています。特に勝連平敷屋、与那城屋慶名、具志川赤野のエイサーは有名です。平敷屋、与那城のエイサーは「日本の音風景百選」にも認定されています。勝連半島と平安座島を結ぶ約4.7kmの海中道路をはじめ宇堅ビーチ、伊計ビーチ、大泊ビーチは夏場の海水浴やマリンスポーツで賑わいます。また、石川岳には「市民の森公園」があり、展望台からは太平洋と東シナ海を望むことができます。この他、市域にはゴルフ場や洋ランセンターなどもあります。



年間イベント



春の芸術祭



平安座島のサングワチャー（旧暦3月3日～5日）



綱引き（各地）



全島獅子舞フェスティバル

1月 春の芸術祭

2月 生涯学習フェスティバル

3月 環金武湾
ウォーキングフェスタ
ゆいゆいウォーク

4月 あやはし海中
ロードレース

5月 こいのぼり掲揚式

6月 ハーリー
（旧5月4日）

7月 うるま市民総合文化祭

8月 うるま市
エイサーまつり

9月 全島獅子舞
フェスティバル

10月 うるま祭り

11月 うるみん
健康・福祉まつり

12月 うるま市
産業まつり



あやはし海中ロードレース



ハーリー
（旧5月4日）



闘牛大会